競技職種実施要領

洋裁

Ver.2_2026年 8月15日



本競技職種実施要領は、以下の内容で構成される。

1　はじめに 3
1.1 競技職種の名称 3
1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明 3
2　技能五輪全国大会職業標準 4
2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率） 4
2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)） 5
3　採点方法、採点基準とその配点、公表方法 8
3.1 採点対象 8
3.2 採点基準 8
3.3 公表方法 9
4　競技課題の概要 9
4.1 競技課題の構成 9
4.2 競技課題作成上の要求事項 9
4.3 競技課題の公表 10
4.4 競技課題の変更 10
5　職種限定規則 10
6　実施注意事項 10
7　競技スケジュール 12
8　支給材料 13
9　選手持参工具・材料 14
10　競技会場設備基準 15

1 はじめに

1.1 競技職種の名称

洋裁職種

1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明

洋裁職種の職務は、高品質な婦人服や子供服などの衣料品を、パターン製作・裁断・縫製・仕上げの各工程を通じて製作することです。

- デザインに合ったパターン製作
- 生地の特性理解と裁断
- 適正な芯地・接着芯地プレス
- 職業用ミシンを用いた縫製の正確さ
- プレス・仕上げ工程・仕上がりの美しさ
- 品質管理（寸法・外観・機能・耐久性の確認）
- 時間管理と安全衛生への配慮

洋裁職種に従事する者は、アパレル業界における縫製技術者・パタンナー・サンプルメーカー・オートクチュール職人などとして活躍します。この職業は、以下の資質と技能を備えることが求められます。

- **高度な手作業および機械操作スキル**：繊細な縫製や正確な裁断を行うための熟練した技能
- **ファッションと美意識の理解**：トレンドやデザインの意図を把握し、形にする感性
- **論理的思考と問題解決力**：構造や寸法の誤差、材料の不具合に対処する力
- **チームワークとコミュニケーション能力**：デザイナーや他の職人との連携
- **継続的な学習姿勢**：新しい素材や技術への柔軟な対応

この職業は、単に服を「作る」だけでなく、「価値ある製品」として完成させるクリエイティブかつ精密な仕事です。大量生産品にはない個別性や高付加価値を生み出す、職人技と芸術性が融合した専門職です。

2 技能五輪全国大会職業標準

2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）

項目		配点率（%）
1	基本作業技術	8
2	縫製技術	24
3	技術的完成度（仕上がりの正確さ･寸法･形状）	50
4	作業態度	10
5	総合製品完成度	8

2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）

項目とその内容		相対重要性配点率(%)
1	**基本作業技術**	**8**
	各自は、以下を知り理解する必要がある。	
	• 地の目が正確である	
	• 表地の上下が正確に裁断されている	
	• 裁断において表地がしわや引き連れがなく設置している	
	• 表地の裏・表が正しい	
	• 耳から適切な距離をあけた裁断である	
	• 接着芯が完全に接着されている	
	• 接着箇所の芯地選択が適当である	
	• ミシン糸調子の良否	
2	**縫製技術**	**24**
	各自は、以下を知り理解する必要がある。	
	• 襟付けの縫い目が安定している	
	• 襟作りの縫い方が安定している	
	• 襟の形状が左右一致している	
	• 襟（テーラードカラー・ショールカラー）の左右のかえりが均一である	
	• 襟綴じ部分がしっかり縫い合わされている	
	• 袖の縫い目が安定している	
	• 袖縫い代の中綴じ	
	• 袖口本開き見せの製作　（後付カフスの縫製）	
	• 袖口開き見せの上前・下前段差の良否　（後付カフスの付け方）	
	• 袖口本開き見せ重ね量が正確である	
	• 袖の形状くせ取り	

	• 袖付け袖山のいせ込み	
	• 袖付け袖のすわり具合	
	• 袖付け位置が良い	
	• 袖付けの縫い目が安定している	
	• 身頃前端の縫い目が安定している	
	• パネルラインの縫い目が安定している	
	• 見返しと身頃のなじみ具合	
	• 身頃脇線の縫い目が安定している	
	• 肩の縫い目が安定している	
	• 背中央のセンターベント縫製の良否	
	• 身頃脇縫い代の中綴じ	
	• 裾表・裏地の縫い目が安定している	
	• 袖・裾ヘム幅が一定である	
	• 身頃裏地の縫い目が安定している	
	• 裏地のキセがバランス良く入っている	
3	**技術的完成度（仕上りの正確さ・寸法・形状）**	**50**
	各自は、以下を知り理解する必要がある。	
	• 襟・前端の縫い代	
	• 肩・衿付け・袖付けの縫い代	
	• 身頃・袖の縫い代	
	• ポケットの使用が可能か	
	• ポケット地縫いの縫い方が安定している	
	• 左右のポケット位置が同じである	
	• フラップ幅が左右同じである	
	• フラップの形状が左右同じである	
	• ポケット口中央からの深さが適切である	

	• ポケット口寸法が正確である	
	• ポケット玉縁幅が指定通りである	
	• ボタンホール位置が正確である	
	• ボタンホールかがり方	
	• ボタンホール形状の良否	
	• ボタン付け位置が正確である	
	• ボタン付け方	
	• 指定着丈寸法の仕上がり	
	• 指定袖丈寸法の仕上がり	
	• 指定カフス巾の仕上がり	
	• 裾上げちどりまつり	
	• 見返し裾まつり	
	• AH 裏地まつり	
	• 袖口ちどりまつり	
	• 袖口裏地まつり	
	• センターベント裏地まつり	
	• 見返し前端の星止め	
	• ショルダーパットの位置が良いか	
	• ショルダーパットのなじみ	
	• ショルダーパットの止め方	
	• 前面シルエットの良否	
	• 背面シルエットの良否	
	• 側面シルエットの良否	
4	**作業態度**	**10**
	各自は、以下を知り理解する必要がある。	
	• 作業準備が適切である	

	• 整理整頓が適切である	
	• ミシンの取り扱いが適切である	
	• アイロンの取り扱いが適切である	
	• 作業に適した服装である	
	• 注意事項を遵守している	
5	**総合製品完成度**	**8**
	• 製品として適切である	
	• デザインを理解している	
	合計	**100**

3 採点方法、採点基準とその配点、公表方法

3.1 採点対象

寸法・仕様の正確性など、計測による採点

縫い目の美しさ、仕上がりのバランスなど、専門家による感覚的な評価

作業中の姿勢・段取り・安全配慮時間管理など、競技中の行動の評価

3.2 採点基準

各課題は、以下に従い加点方式により採点を行う

（採点配分は、いずれも減点がない場合　合計100点とする）

	大項目	採点配分	小項目
1	基本作業技術	8	裁断・縫い代
2	縫製技術	24	各パーツの縫製
3	技術的完成度	50	手作業縫製・寸法・形状・シルエット
4	作業態度	10	整理整頓・設備機材取扱い・服装
5	総合製品完成度	8	製品としての完成度

競技課題には、採点項目と配点が設定されます。

裁断制度　：　裁断、縫い代、パーツの形状が正確である

縫製制度　：　縫い代の正確さ

仕上がりの美しさ：　アイロンの仕上げ、立体感、全体のバランス

作業計画・段取り：　作業手順の合理性、無駄のない動き

時間内完成：　所定時間内に完成しているかどうか

安全・清潔さ：安全作業・整理整頓の実施状況

＊　**採点対象外事項**

次の事項に該当する場合は、採点対象外とする

①　未完成

②　著しい傷・汚れ

3.3 公表方法

主催者が指定する方法において、参加選手本人による照会の場合のみ、競技結果採点を伝達する

4 競技課題の概要

4.1 競技課題の構成

競技時間合計　10時間（2日間）

競技1日目　7時間

競技2日目　3時間

4.2 競技課題作成上の要求事項

競技課題は、与えられた支給材料により仕様に基づいて、当日発表される襟のディテールデザイン及び袖口ディテールデザイン課題の上着を裁断・縫製・仕上げの各工程を通じて製作することです。

競技課題を完成させるには、単に服を「作る」だけでなく、「価値ある製品」として完成させるクリエイティブかつ精密な仕事であり、生地の特性を理解したうえで裁断と、適正な芯地の接着とミシン作業・手作業による縫製の正確さが求められます。、

ファッションと美意識理解のもと基礎技術に加え、プレス・仕上げ工程・仕上がりの美しさが問われます

4.3 競技課題の公表

事前公表の競技課題は、原則として技能五輪大会の3か月前に主催者ウェブサイトで公開する

（襟と袖口のディテールデザインの決定は大会当日公表する）

4.4 競技課題の変更

事前公表競技課題に変更がある場合は、主催者ウェブサイトで公表する

5 職種限定規則

＊アイロンは、会場設備ドライアイロン、又は持参した家庭用スチームアイロンのどちらか一台の使用とする

＊縫製用ゲージの持込みは禁止する

＊針の糸通しは、競技時間内に行う

＊ミシン針の点検・ミシン針の取り付け・ミシンの糸調子は選手自身が行う

＊選手持参工具・材料　以外の持込みは禁止する

6 実施注意事項

① 指示に従い持参工具の点検を必ず受けること

② 支給材料が全て揃っているか確認すること

③ 支給材料に異常がある場合は確認時間内に交換を申し出ること

④ 型紙が全てそろっているか確認すること

⑤ 持参工具及び支給材料の貸し借り、及び譲渡を禁止する

⑥ 電気工具の使用は安全に配慮し十分注意する

⑦ ミシン調整（針の取り付け）は各自行う事

⑧ 競技前・競技終了後は、作品には手を触れないこと

⑨ 自らの責めによらない理由で作業が中断された場合、中断した時間をストップウォッチで計測し競技時間を延長する場合もあります

⑩ 作業スペース内は常に整理整頓し、作業スペースラインから人台を出さないこと

⑪ 作業に必要のないものは、指定された場所に置くこと

⑫ 作業台の下には、貴重品及び飲料水以外の持ち物はおかないこと

⑬ 競技中の私語は禁止する

⑭ 縫製用厚紙ゲージのパターン作りは、競技時間内に行う事

⑮ メモしたものや、仕様書等の持込みを禁止する

⑯ 競技中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の持込み仕様を禁止する

⑰ 競技中のケガ・体調不良の場合は、競技委員又は補佐員に申し出ること

⑱ 服装は、安全性且つ洋裁作業に適したものであること

⑲ 全ての課題製作に関しての質問は受け付けない

⑳ 著しい不正がある場合は、失格とする

7 競技スケジュール

選手下見　　2026年12月4日（金）

9：00	役員集合
	支給材料配布
10：00～10：15	選手受付（作業台抽選）
10：15～10：30	主査挨拶・注意事項
10：30～12：00	選手競技準備
	支給材料の確認
	表地地のし・裏地地のし
	アイロンの確認・ミシン調整
12：00	昼食配布
	選手解散

競技1日目　　2026年12月5日（土）

7：20	役員集合
8：00～8：30	選手集合受付　（襟・袖口ディテールデザイン抽選）
8：30～8：55	競技員主査挨拶
	型紙の配布・確認
	持参工具その他検査
9：00～12：00	競技開始（3時間）
12：00～12：45	昼食
12：50～14：50	競技（2時間）
14：50～15：00	休憩
15：00～17：00	競技（2時間）
17：00	競技1日目終了

競技2日目　　2026年12月6日（日）

8：20	役員集合
8：40～9：00	選手集合受付
9：00～12：00	競技開始（３時間）
12：00	競技2日目終了
12：10～	作品を控室に移動
12：30～12：45	作品展示披露

8 支給材料

品　　名	品　　質	寸　法	数　量	備　考
表　地	ウール	143 ㎝幅	1.7m	
裏　地	ポリエステル	122 ㎝幅	1.3m	
接　着　芯	ポリエステル	122 ㎝幅	1.2m×2 種	
ミシン糸	ポリエステル	200m	1	
手縫い糸	シルク	80m	1	
穴　糸	シルク	20m	1	
肩パット			1 組	
ボタン		2.0 ㎝	2	
ボタン		1.5 ㎝	4	
スナップ		0.8 ㎝	6	
接着ストレートテープ	ポリ 65%　綿 35%	1 ㎝幅	3m	
型　　紙			1 セット	
製図用紙		54 ㎝×40 ㎝	1	

9 選手持参工具・材料

品　　名	規　　格	数　量	備　考
ア　イ　ロ　ン （持参しても構わない）	家庭用スチームアイロン	1 台	工業・職業用スチームアイロンは認めない スチームアイロン使用は、家庭用に限り持参して良い
は　さ　み	裁断用	適宜	カッター使用はカッターボードを用意する事
物指し類	カーブ尺・メジャー・定規	適宜	
その他の用具	ルレット・縫い針・目打ち ピン針・ステッチ定規・小ばさみ類・ロータリーカッター・ドライバー（+・−）・霧吹き・鳩目パンチ　等	適宜	仕上馬・鉄マンを使用したい場合は持参しても良い 紙切りバサミ・カッター メンディングテープ又は セロテープを持参しても良い 文鎮を持参しても良い
筆記用具類	チャコ・鉛筆・消しゴム　等	適宜	チャコペーパー使用可
糸　　類	しつけ糸	適宜	糸通しは競技開始後とする
厚紙	パターンゲージ用		持参しても良い
敷布（アイロン） あて布	使い慣れたもの	適宜	クッキングシート持参可

（注）1. アイロンは、会場設備のドライアイロンか持参した家庭用スチームアイロンのどちらか一つを仕様すること

2. 会場に準備してあるもの以外は貸し出さない

3. 選手間の工具類等の貸借は認めない

10　競技会場設備基準

区　分	品　　名	寸法又は規格	数　量	備　考
設備類	作　業　台	180 ㎝×90 ㎝ 180 ㎝×45 ㎝（ミシン用）	1 台 1 台	1 人 1 台
	ラ　イ　ト	ゼットライト （卓上スポットライト）	1 台	1 人 1 台
機械類	ミ　シ　ン	職業用卓上ミシン	1 台	ボビンケース ボビン 2 個 ミシン針付 付属工具なし
工具類	ドライアイロン	5 号～6 号	1 台	水入れ及び水刷毛付き 家庭用スチームアイロン 持参しても良い
	人　　台	標準体型の中寸	1 台	バスト　83 ㎝ ウエスト 63 ㎝ ヒップ　88 ㎝
	大　ま　ん		1 個	
	袖　ま　ん		1 個	
	小　う　ま		1 個	鉄マンを持参しても 良い
	文　　鎮		3 個	持参しても良い